

長期インターンシップの実例3(平成26年度)

○インターンシップ者であるポストク; 水野 貴行 氏
平成26年3月 東京農工大学大学院 連合農学研究科
〈茨城大学配置〉 博士後期課程 修了
【指導教員】連合農学研究科 岩科 司 客員教授

○インターンシップ先; サントリーグローバルイノベーション株式会社

○雇用期間; 平成26年6月9日～平成26年10月31日

○インターンシップ期間; 同上

○インターンシップ後の進路; 平成26年11月1日から
平成27年3月30日まで独立行政法人国立科学博物館に
支援研究員(非常勤)として就職。さらに平成27年4月1日付で
独立行政法人農業・食品産業技術総合研究機構に研究員として就職。

○水野氏の感想; インターンシップによる人との出会いは私のこれまでの
研究の考え方を変わる転機になりました。実社会に貢献出来る価値の有る
研究とは何か、今後はもっと意識していけたらと思います

○インターンシップ先の指導者の感想; 若くてスキルのある研究者を受け入れる
ことは、①関連する分野の研究に新しい知識や技術をもたらし、業務の遂
行に役に立つ、②社員、特に若手社員のよい刺激になるので、企業にとっ
ても有意義であると考えます

